

平成16年度
滝沢村環境年次報告書

鈴の音が 心地よい環境の村 たきざわ

平成17年9月
滝 沢 村

はじめに

滝沢村は、岩手山麓の水と緑の自然環境に加えて、歴史が育んだ伝統、文化に恵まれ美しい村です。この豊かな自然と伝統文化を守り、将来の世代に継承していくことこそが、私たちの使命となってなっています。

そこで、本村では、健康で快適な生活の確保と地球環境の保全に向けて、平成14年3月に「滝沢村環境基本条例」を制定し、平成15年3月に「滝沢村環境基本計画」を策定しました。この中では、「鈴の音が 心地よい環境の村 たきざわ」を掲げ、かけがいのない地球への負担を軽減するための環境施策を推進しています。

この計画に基づき、住民、住民団体、事業者、村が環境問題に対する共通の認識を持ち、それぞれの役割を果たしながら連携・協働することにより、大きな相乗効果が発揮されることを期待しています。

この年次報告書は、滝沢村環境基本計画に基づいた重点施策の実施状況をまとめ、昨年平成15年度に初めて発行したものです。

2回目となるこの平成16年度年次報告書が、本村の環境行政のご理解を深めていただくための参考となり、さらに環境へ意識が高まることを期待しております。

平成17年9月

滝沢村長 柳 村 純 一

目 次

1 環境基本計画 重点施策に関する実施状況	
(1)公害	1
(2)環境教育・ネットワーク	6
(3)まちづくり・産業	11
(4)自然環境	17
(5)生活・地球環境	21

資料集（各種調査結果）

～年次報告書とは～

この報告書は、滝沢村環境基本条例（平成 14 年 3 月 20 日 条例第 11 号）第 14 条に規定する年次報告として作成するものです。

この報告書の対象は、同条例第 12 条に規定する滝沢村環境基本計画(平成 15 年 3 月策定)の第 5 章「重点施策」である向こう 5 年間の中で重点的に取り組むべき施策としております。

対象期間・・・平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日

作成部署・・・滝沢村役場 環境産業部 環境課

〒020-0192 岩手県岩手郡滝沢村鶺鴒字中鶺鴒 55 番地

T E L : 019-684-2111 F A X : 019-684-1517

E - M A I L : kanky@Vill.takizawa.iwate.jp

1 環境基本計画 重点施策に関する実施状況

重点施策（１）公害

監視測定体制を確立します。

取り組み内容	騒音測定 1（一般道）	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 一般道路については、8地点で騒音調査を実施しました。 測定結果は、5地点で環境基準を超え、さらに2地点（国道282号、4号）で要請限度も超えていました。この結果は、前年度と同様の結果となっています。 過去数年間の経年変化を見ても、国道4号：巣子地点は、平成12年度から5年連続夜間で要請限度を超過しています。国道282号：一本木地点は、平成13年度から4年連続要請限度を超過しています。 一方、一般国道46号：篠木地点は、排水性舗装が敷設されたことにより、平成15年度からは環境基準を満足する結果になっています。 調査結果の詳細は、資料集1参照。			

取り組み内容	騒音測定 2（高速道）	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 高速道路については、8地点で騒音調査を実施しました。 測定結果、環境基準を超えている地点はありませんでした。 なお、前年度環境基準を超えていた2地点については、遮音壁が設置されたことにより、大幅に改善され、環境基準以下になりました。 改善された1地点の内容：昼68dB 58dB、夜66dB 57dB 調査結果の詳細は、資料集2参照。			

取り組み内容	騒音測定 3（新幹線）	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 新幹線については、平成14年12月八戸新幹線開業を受け、平成15年度から調査を実施しています。 平成16年度は、滝沢トンネルの南北の出入り口各1地点（計2地点）で騒音調査を実施しました。その結果は、環境基準値内でした。 しかし、どちらも環境基準値と同値であったことから、今後も騒音の監視を行っていくことが必要と考えています。 調査結果の詳細は、資料集3参照。			

取り組み内容	水質調査	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>前年度同様、生活環境の保全に関する項目（9項目）について、6河川8地点、年2回、人の健康の保護に関する項目（26項目）について、4河川4地点、年1回の水質調査を実施しました。</p> <p>調査結果では、大腸菌群数が環境基準を超えていますが、これは生活排水や事業系排水が混入していることや、土壌などに含まれる大腸菌の影響が考えられます。また、同地点での測定結果で、夏と冬とで大きな違いがあるのは、水の流量の影響も考えられます。</p> <p>BOD（生物化学的酸素要求量）については、河川A類型を該当させた場合、基準値2mg/lを冬の測定で2箇所(巣子川と木賊川のそれぞれの下流)で超過しています。これは、生活排水や畜産系等の排水などの混入による影響があると考えられる。木賊川下流は、初めてで、巣子川下流は、3年連続で超過しています。</p> <p>その他の生活環境の保全に関する項目、有害物質等に係る人の健康の保護に関する項目の調査結果については問題なく、環境基準値内でした。</p> <p>また、上水道の水源に関連し、4地点5項目、10地点40項目の水質検査を実施しています。上記基準値と比べ、基準値内となっています。</p> <p>調査結果の詳細は、資料集4参照。</p>			

取り組み内容	環境放射能調査	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>昭和63年に日本アイソトープ協会が滝沢村で操業開始以来、放射線監視委員会を設置して検討評価を行なっています。同委員会では、前年度に次年度の環境放射能測定基本計画を策定し、これに基づき、今年度も測定を実施しております。</p> <p>測定項目</p> <p>RMCから出される排気、排水に含まれる放射能濃度</p> <p>大気中に含まれる環境放射能の測定（RMC入り口付近の空間線量率とRMC周辺9地点、鶺鴒地区1地点の空間積算線量）</p> <p>環境試料別の測定（RMC周辺と鶺鴒地区から採取した土壌、河川水、河底土、水道水、カラマツ、玄米、牧草、牛乳の8種類、合計42検体についての放射能濃度）</p> <p>これらの測定結果について、平成16年度と同委員会で検討評価を行ったところ、測定を開始した昭和63年度以降の結果と同様に、全て、検出限界値未満であり、自然環境への影響はなかったとの結論に達しています。</p>			

取り組み内容	大気汚染調査	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>村独自の調査は行っていませんが、県が大気汚染防止法第20条及び第22条の規定により、県内10市1町1村で調査を実施しており、村内では、常時観測地が1ヶ所で巣子地内にあります。測定結果は、二酸化窒素・浮遊粒子状物質とも昨年同様、基準以下となっております。</p>			

取り組み内容	電磁波調査	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 16年度の取り組みはありませんでした。			

取り組み内容	酸性雨調査	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 村独自の調査は行っておりません。 村内での測定はありませんが、県では、4箇所測定しておりますが、16年度測定分の公表(平成17年7月時点未公表)されていません。 なお、平成15年度に県が行った4地点の測定結果のpHの平均は、4.9（盛岡市4.8、一関市4.9、宮古市と二戸市5.3）であり、過去10年間の変動範囲（4.8～5.1）内でした。酸性雨については、基準等は定められてはいませんが、環境省が平成15年6月23日に公表した1983～2002年（20年間）の全国平均値4.8に比べて、わずかに中性側の値となっています。			

《清掃センター施設関連 監視測定》

取り組み内容	清掃センター最終処分場 水質関連1 原水水質調査	担当課	清掃センター
取り組み状況（H16） 最終処分場内原水の水質調査を年1回（42項目）実施しました。 調査結果は、検査を開始した平成12年度11月以降同様に、異常な数値を示していません。 調査結果の詳細は、資料集6参照。			

取り組み内容	清掃センター最終処分場 水質関連2 放流水水質調査	担当課	清掃センター
取り組み状況（H16） 最終処分場からの方流水の水質調査を毎月7項目と年1回42項目を実施しました。 調査結果は、全ての項目で基準以下であり、平成11年1月の調査以降、基準以下で推移しています。 調査結果の詳細は、資料集7参照。			

取り組み内容	清掃センター最終処分場 水質関連3 放流先河川の水質調査	担当課	清掃センター
取り組み状況（H16） 放流先の上流、下流を年1回9項目の水質調査を実施しました。調査結果は、全ての項目で異常は示されておりません。 調査結果の詳細は、資料集8参照。			

取り組み内容	清掃センター最終処分場 水質関連 4 地下水水質調査	担当課	清掃センター
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>処分場の上流側、下流側の地下水調査を毎月2項目、年1回28項目実施しました。</p> <p>調査結果として、毎月の2項目については、年間を通じて大きな変化は無く異常値を示していませんでした。また、年1回の各項目に関しても基準値以下となっております。</p> <p>調査結果の詳細は、資料集9参照。</p>			

取り組み内容	清掃センター旧処分場 水質関連 5 地下水分析調査	担当課	清掃センター
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>旧処分場の上流側、下流側の地下水調査を毎月2項目、年1回27項目実施しました。</p> <p>調査結果として、毎月の2項目については、年間を通じて大きな変化は無く異常値を示していませんでした。また、年1回の各項目に関しても基準値以下となっております。</p> <p>調査結果の詳細は、資料集10参照。</p>			

取り組み内容	清掃センター 焼却施設 大気関係 1 排ガス測定 ばい煙測定	担当課	清掃センター
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>1号炉、2号炉のばい煙測定をそれぞれ年2回実施しました。</p> <p>調査結果はいずれも排出基準以下でした。</p> <p>調査結果の詳細は、資料集11参照。</p>			

取り組み内容	清掃センター 焼却施設 大気関係 2 排ガス測定 ダイオキシン類測定	担当課	清掃センター
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>1号炉、2号炉のダイオキシン類の測定を各年1回実施しました。</p> <p>調査結果はいずれも排出基準以下でした。</p> <p>調査結果の詳細は、資料集12参照。</p>			

取り組み内容	清掃センター 焼却施設 土壌関連 周辺ダイオキシン類による土壌汚染調査	担当課	清掃センター
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>焼却施設周辺の周辺、柳沢小中学校付近を含む約2キロ以内、10地点の土壌のダイオキシン類の調査を実施しました。</p> <p>調査結果は、15年度の値と比較し、同等か低い値を示しており、過去3年間と比較し、顕著な濃度の変動は見受けられませんでした。調査結果の詳細は、資料集13参照。</p>			

以上、水質関係5件、大気関係2件、土壌関係1件の調査結果、清掃センター最終処分場、旧処分、焼却施設からの周辺環境への影響が基準以下であることが確認された。

有害化学物質に関する情報の収集に努め、公表します。

取り組み内容	有害化学物質に関する情報収集	担当課	環境課
取り組み状況（H16）			
16年度は、村内において有害化学物質に関する情報が得られませんでした。			

取り組み内容	P R T R法に基づく届出状況	担当課	環境課
取り組み状況（H16）			
<p>岩手県への届出は、滝沢村23事業所で排出量が大气排出量5,366(kg/年)水域16(kg/年)計5,382(kg/年)移動量4,784(kg/年)(平成15年度事業者が把握した量を平成16年4月1日から6月30日までに届けた数値)でした。</p> <p>前年度の比較し、事業所も排出量・移動量も増えていますが、これは、届出業者の基準が、平成16年度から5トン以上の取り扱いから1トン以上の事業者となったことが大きな要因と推測されます。</p> <p>この届出制度は、事業者が有害性のある化学物質について大气、水、土壌への排出量及び廃棄物を自ら把握し、報告するシステムであり、事業者に化学物質の自主的な管理を促し、環境の保全上の支障を未然に防止する有効な手段となっています。</p>			

開発行為における環境配慮指針の確立に努めます。

取り組み内容	環境配慮指針	担当課	都市計画課
取り組み状況（H16）			
16年度の取り組みはありません。			

重点施策（２）環境教育・ネットワーク

環境教育、環境学習の充実を図ります。

取り組み内容	アイドリングストップなどの啓発	担当課	契約管財課 環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>ISO14001の教育訓練の一環で公用車の安全管理と省エネ対策について課内で研修会を行ったことで、公用車管理に伴う燃料消費削減について理解を深めました。</p>			

取り組み内容	総合学習の活用	担当課	学校教育課																
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>村内小中学校の取り組み状況</p> <p>平成16年度においても「総合的な学習の時間等」を活用し、各学校に外部講師等を招き、環境教育・環境学習の取り組みを子供たちが自主的に行った。</p> <p>村内小中学校では、下記のとおり合計34回の環境教育・環境学習を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数（校）</th> <th>実施状況（回）</th> <th>割合（回/校）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>8</td> <td>33</td> <td>4.13</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>2.43</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・滝沢小学校 8回 （りんご栽培体験学習4回、りんご剪定体験学習1回、稲作体験学習3回） ・滝沢第二小学校 4回 （稲刈体験学習1回、森林公園探索1回、田植体験学習1回、野菜植付け学習1回） ・鶴飼小学校 6回 （稲刈体験学習1回、りんご体験学習4回、稲作体験学習1回） ・一本木小学校 3回 （そば栽培等体験学習3回） ・柳沢小中学校 小学校10回 中学校1回 （小学校 森林学習1回、柳沢湧口調査1回、環境教育1回、イワナに学ぶ7回） （中学校 イワナ放流等体験学習1回） ・滝沢東小学校 2回 （事前観察学習2回） <p>この事業は、子供たちが自主的にさまざまな分野の中から課題を決めて授業を行うこととなるが、その中で環境教育についても取り上げ授業しており、環境教育に関する理解を深める上で効果があった。</p>				区分	学校数（校）	実施状況（回）	割合（回/校）	小学校	8	33	4.13	中学校	6	1	0.17	合計	14	34	2.43
区分	学校数（校）	実施状況（回）	割合（回/校）																
小学校	8	33	4.13																
中学校	6	1	0.17																
合計	14	34	2.43																

取り組み内容	出前講座	担当課	社会教育課																				
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年度における環境教育・環境学習に関する出前講座は、4件で、受講者数136名であり、小グループによる学習会や、学校での総合学習の時間等に環境学習が行われている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>講座メニュー</th> <th>団体名</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/11</td> <td>ごみの出し方・分け方について</td> <td>加賀内農家組合</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>6/3</td> <td>同上</td> <td>村地域婦人団体連絡協議会</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>7/6</td> <td>水の大切さを考える</td> <td>滝沢小学校</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>7/6</td> <td>水源に行ってみませんか</td> <td>滝沢小学校</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>講座を活用した環境学習が行われており、住民の環境に関する理解、関心を深める上で効果がありました。</p>				月日	講座メニュー	団体名	受講者数	4/11	ごみの出し方・分け方について	加賀内農家組合	20	6/3	同上	村地域婦人団体連絡協議会	28	7/6	水の大切さを考える	滝沢小学校	62	7/6	水源に行ってみませんか	滝沢小学校	26
月日	講座メニュー	団体名	受講者数																				
4/11	ごみの出し方・分け方について	加賀内農家組合	20																				
6/3	同上	村地域婦人団体連絡協議会	28																				
7/6	水の大切さを考える	滝沢小学校	62																				
7/6	水源に行ってみませんか	滝沢小学校	26																				

取り組み内容	青空教室	担当課	清掃センター																																																						
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>村内の小学生（四年生）を対象に、ごみ処理施設、資源回収施設、最終処分場を見学し、「ごみの収集、処理、回収、処分」の一連の流れを視察体験することにより、ごみの適正な処理及びごみの減量化、リサイクルのあり方を学んでもらいました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="4">対象人数</th> </tr> <tr> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>前年比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滝沢小学校</td> <td>154人</td> <td>128人</td> <td>171</td> <td>+43</td> </tr> <tr> <td>滝沢東小学校</td> <td>86人</td> <td>70人</td> <td>76</td> <td>+6</td> </tr> <tr> <td>篠木小学校</td> <td>69人</td> <td>87人</td> <td>64</td> <td>-23</td> </tr> <tr> <td>滝沢第二小学校</td> <td>136人</td> <td>111人</td> <td>106</td> <td>-5</td> </tr> <tr> <td>鵜飼小学校</td> <td>128人</td> <td>150人</td> <td>131</td> <td>-19</td> </tr> <tr> <td>柳沢小学校</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>10</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>一本木小学校</td> <td>33人</td> <td>24人</td> <td>27</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>姥屋敷小学校</td> <td>26人</td> <td>0人</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>641人</td> <td>581人</td> <td>585</td> <td>-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成15年度は前年度に比較して4人の減となっています。これは、各学校の生徒数の減少等によるものと推察されます。</p> <p>この取り組みは、環境教育・環境学習に関する理解を深める上で効果がありました。</p>				学校名	対象人数				14年度	15年度	16年度	前年比較	滝沢小学校	154人	128人	171	+43	滝沢東小学校	86人	70人	76	+6	篠木小学校	69人	87人	64	-23	滝沢第二小学校	136人	111人	106	-5	鵜飼小学校	128人	150人	131	-19	柳沢小学校	9人	11人	10	-1	一本木小学校	33人	24人	27	+3	姥屋敷小学校	26人	0人	0	0	計	641人	581人	585	-4
学校名	対象人数																																																								
	14年度	15年度	16年度	前年比較																																																					
滝沢小学校	154人	128人	171	+43																																																					
滝沢東小学校	86人	70人	76	+6																																																					
篠木小学校	69人	87人	64	-23																																																					
滝沢第二小学校	136人	111人	106	-5																																																					
鵜飼小学校	128人	150人	131	-19																																																					
柳沢小学校	9人	11人	10	-1																																																					
一本木小学校	33人	24人	27	+3																																																					
姥屋敷小学校	26人	0人	0	0																																																					
計	641人	581人	585	-4																																																					

取り組み内容	環境講座	担当課	公民館
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年度村内の成人を対象として、環境をテーマとした講座を下記のとおり実施しました。</p> <p>環境講座「エネルギーについて考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全2回（10/6・10/26） ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 1回目 家電製品の選び方や使い方、待機時消費電力、電気代の計算方法、ちょっとした工夫でできる省エネ方法などについてトーク形式により学習 2回目 施設見学「東北電力女川原子力発電所」 ・参加人数 14人 <p>環境講座「沢内村の治雪・活雪・親雪に学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全1回（2/25） ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 講演「沢内村の雪の克服史と利活用の成果等について」 施設見学「雪国文化研究所」 体験学習「カンジキ体験・雪灯り作成」 ・参加人数 18人 <p>それぞれのテーマ毎に、自分たちの暮らしと生活環境との関わりについて知るとともに、エネルギーや環境問題の「いま」そして「あした」を一緒に考えながら、取り組みへの重要性について認識を新たにしてもらうことができたと思われます。</p> <p>この事業は、近年の社会的課題とされる環境問題や自然環境に関心を持ってもらい理解を深める上で効果がありました。</p>			

住民、住民団体、事業者、行政による環境ネットワークの構築を図ります。

取り組み内容	たきざわ環境パートナー会議の設立	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成15年度に引続き設立準備会を9回（通算15回）開催し、住民、住民団体、事業者、村が協働して環境の保全と創造について、意見交換する場として「たきざわ環境パートナー会議」を平成16年7月25日に設立しました。</p>			

取り組み内容	環境基本計画の推進（追加）	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年度は「たきざわ環境パートナー会議」の設立を受け、組織として環境基本計画の推進の取り組みを始めた。</p> <p>具体的には、パートナー会議に5部会（公害予防、環境教育・ネットワーク、まちづくり・産業、自然環境、生活・環境）がそれぞれの活動を開始しました。</p>			

取り組み内容	環境ボランティアの育成	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>16年度の取り組みはありませんでした。</p>			

取り組み内容	環境パートナーシップいわてとの連携	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>環境パートナーシップいわてには、設立（H14）当初より団体加入しております。環境パートナーシップいわて主催行事へ参加しました。</p> <p>この取り組みは、県内各地の活動団体等の情報等が得られました。</p>			

取り組み内容	活動団体の支援 1	担当課	参画協働課
<p>取り組み状況 (H16)</p> <p>1. 地域まちづくり推進委員会の支援 (下記事業への補助金交付、並びに助言等の支援活動)</p> <p>(1) 鵜飼地域まちづくり推進委員会「諸葛川美化推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸葛川河川の桜の管理 植替え、剪定、追肥、害虫駆除 ・ 諸葛川河川への花壇の設置及び植栽、管理 チューリップの植栽、管理 ・ 諸葛川河川の草刈及びごみ拾い <p>(2) 柳沢地域まちづくり推進委員会「自然環境の創造事業(広葉樹の植林事業)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手山麓(相の沢牧野)への広葉樹の植栽 <p>企画から実施まで環境保全活動に取り組むことにより、地域としての環境に関する意識が高まったと思われます。</p>			

取り組み内容	活動団体の支援 2	担当課	経営企画課
<p>取り組み状況 (H16)</p> <p>北上川流域及び北上川支流における調査活動や清掃活動などを通じて、環境保護の大切さを学ぶことを目的として取り組みました。</p> <p>事業実施後の児童の感想文には、環境保全に対する意識の高揚や環境に配慮する行動の実施意欲が読み取れることから、環境に対する意識付けが図られたと判断します。</p> <p>川の健康診断(水生生物調査)</p> <p>対象：篠木小学校 第6学年2学級 場所：雫石川河川敷(大釜グラウンド付近 2箇所) 日時：平成16年7月2日 8:30~10:20、10:30~12:20 内容：水生生物調査による水質診断</p> <p>海岸清援隊(北上川河口清掃活動)</p> <p>対象：一本木小学校4学年児童とその父兄(希望者)23名 場所：宮城県立神海岸及び白浜海岸(北上川河口) 日時：平成16年7月10日 内容：河口海岸の流木及び生活ごみの清掃活動及び環境学習</p> <p>環境保護の大切さを学ぶためには、子どもの頃からの環境教育と学習が大切である。「川の健康診断」と「海岸清援隊」は実際に河川や河口に行き、水生生物調査や清掃を行う事業であり、環境保護の意識付けに大きな成果があったと思われる。事業実施後、子ども達に作文を書いてもらっているが、その中で、河口にごみが多いことの驚きや川を大切にしたいという思いが多く書かれており、環境教育、環境学習という面では大きな成果があったと考える。</p>			

重点施策（３）まちづくり・産業

環境に配慮した農業を目指します。

取り組み内容	グリーン・ツーリズムの推進	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>岩手県グリーン・ツーリズム推進協議会に加入し、村内の農林漁業体験民宿、体験交流施設、グリーン・ツーリズム体験インストラクター等に対して、情報の提供を行いました。</p> <p>村のホームページにおいて、グリーン・ツーリズム体験施設のリスト、案内図を掲載し、村内外にPRを実施しました。</p> <p>雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会と連携し、『地域グリーン・ツーリズム受け入れネットワークモデル構築事業』に公募、岩手山麓南部エリアとして広域のグリーン・ツーリズム受け入れネットワーク構築に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズム関連施設 農家民宿 2、観光農園 2、農家レストラン 1 ・村ホームページ掲載施設 4カ所 ・地域グリーン・ツーリズム受け入れネットワークモデル構築事業 実行委員会2回、ワークショップ3回、出席者数 延べ22人 <p>これらの取り組みは、農村と都市との交流及び地域の活性を図る上で効果がありました。</p>			

取り組み内容	インストラクターの養成	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>地域の資源を有効に活かし、農林漁業体験等を通じて、都市の人との交流を推進する体験インストラクター育成のため、グリーン・ツーリズムに関心のある方に対して、インストラクター取得研修の受講について案内し、育成に努めた。</p> <p>この取り組みは、登録者をグリーン・ツーリズムの中心的担い手として、農業体験指導などの機会を提供する上で効果があると思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわてグリーン・ツーリズム体験インストラクター登録者 2名（計11名） ・北東北グリーン・ツーリズムアカデミー受講者 1名 <p>（都市農山漁村交流活性化機構認定グリーン・ツーリズムインストラクター）</p>			

取り組み内容	減農薬、有機栽培の推進	担当課	農林課
取り組み状況（H16）			
1 水稲限定栽培等生育調査圃設置事業			
<p>環境にやさしい減農薬栽培である限定栽培と通常の慣行栽培の生育調査圃を設置し、地域ごとの自然条件に適合する栽培体系の調査研究を行い、生産者への技術指導等に活用しながら限定米栽培技術の向上と普及を目指すとともに、良質米の安定生産を図ることを目的としています。</p>			
<p>また、平成13年度に岩手県オリジナル品種として新たに品種登録された「いわてっこ」の適作地試験を併せて行い、滝沢村での栽培普及を目指しました。</p>			
<p>結果として、平成16年度の「いわてっこ」の栽培面積は2,587aであり、平成15年度の栽培面積の2,948aと比較し、前年対比87.8%と若干減少してしまいました。これは、平成15年度の異常気象で「いわてっこ」の収量が上がらなかったために、他品種への移行が進んでしまったことによるものと思われます。</p>			
2 新需要穀類栽培普及事業			
<p>無農薬栽培で、健康食として注目されている「いなきび」「たかきび」「あわ」「ひえ」「アマランサス」等の新需要穀類は、学校給食等の食材として取り入れるところが多くなってきており、今後さらに需要の拡大が期待される作物の一つです。</p>			
<p>そのため、JA新岩手で組織する雑穀生産部会が中心となり、新需要穀類を栽培している生産者個々の栽培技術の向上を図りながら、安定多収技術の確立を目指すとともに、村内外における消費者へ広くPR・交流活動を行いながら普及・消費拡大を図ることを目的としています。</p>			
<p>結果として、平成15年度と比較して生産量は大幅に上回り（平成15年度：576kg、平成16年度：1,137kg）、販売面においては需要が年々増え、販売先の練馬区給食センターへは平成15年度は116kgの販売であったものが、平成16年度は229kgの販売になり、イベント等での販売も好調で平成16年度は過去最高の624kgの販売となりました。上記2つの事業を実施することによって、減農薬、有機栽培の推進は図られております。</p>			

取り組み内容	環境保全型農業の推進	担当課	農林課
取り組み状況（H16）			
<p data-bbox="193 331 778 365">1 農業用廃プラスチック適正処理推進事業</p> <p data-bbox="220 383 1382 562">農業用廃プラスチックは、産業廃棄物として取り扱われ、農業者が自らの責任において適正に処理することが法律で義務づけられていますが、一般に農業者は他産業と比較して零細であり、さらに個々の排出量が少ない上、その発生場所が広く分散していることから、農業者個々の努力のみでは適正処理が困難な状況にあります。</p> <p data-bbox="220 573 1382 797">そのため、関係機関で組織する農業用廃プラスチック適正処理推進協議会が中心となり、環境に配慮したリサイクル処理を原則として農業用廃プラスチックの回収処理を実施していますが、他の処理方法に比べ特殊であることから、その経費の一部（運搬費）を助成することにより農家負担の軽減と円滑かつ適正な回収処理の推進を図ることを目的としています。</p> <p data-bbox="220 808 1382 943">結果として、平成16年度の回収実績は塩化ビニールについては、当初見込みの4,000kgを上回る4,626kg、ポリ類についても当初見込みの38,000kgを上回る42,851kgとなり、着実に適正処理の推進が図られました。</p> <p data-bbox="193 1003 751 1037">2 環境にやさしいりんごづくり推進事業</p> <p data-bbox="220 1055 1382 1133">農産物の安全性に対する消費者の関心は、近年急速に高まりつつあり、りんご購入の際の重要な判断基準となってきています。</p> <p data-bbox="220 1144 1382 1279">そのため、害虫の発生状況を把握するフェロモントラップと害虫の発生を減らす交信攪乱剤を利用したりんごの防除体系を組み立て、殺虫剤の散布回数を削減した環境にやさしいりんごづくりの推進と普及拡大を図ることを目的としています。</p> <p data-bbox="220 1290 1382 1570">この取り組みは、環境にやさしい農業を推進する上で効果があり、効果として、交信攪乱剤に取り組んでいる3事業主体については、殺虫剤を削減（慣行防除8回に対し、3～4回の削減）することができ、交信攪乱剤及びフェロモントラップの設置面積が少しずつではありますが、広がってきております（滝沢村のりんご栽培面積74haに対し42haの実施：約57%の普及率）。村内果樹農家約80戸のうち、24戸が実施しております（約30%の実施率）。</p> <p data-bbox="248 1581 1382 1615">上記2つの事業を実施することによって、環境保全型農業の推進は図られております。</p>			

畜産廃棄物の適正な管理を目指します。

取り組み内容	家畜排せつ物の有効利用	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>家畜排せつ物の有効利用については、たい肥処理施設の整備が順次進む中において、たい肥処理施設の未整備農家に対して巡回を実施し、優良たい肥の生産を指導して参りました。</p> <p>また、畜産・酪農家の殆どは、自己消費型であり、生産されたたい肥を草地及び飼料畑に還元していますが、耕種農家や一般の方に販売するため、肥料取締法による特殊肥料の届出を行うよう、優良な完熟たい肥生産農家を対象に巡回指導して参りました。</p> <p>平成17年3月末（巡回指導時）</p> <p>たい肥処理施設未着手農家数 0件</p> <p>特殊肥料販売届出巡回指導農家数 12件</p> <p>この取り組みは、環境にやさしい農業推進する上で効果があります。</p>			

取り組み内容	堆肥処理施設の整備促進	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>県、農協及び村の職員で未整備農家の巡回を実施し、整備の普及を図ってきました。</p> <p>堆肥処理施設の整備については、平成15年度末現在において法律対象農家112戸中、規模縮小等（10頭未満）農家6戸を含み81戸の農家が法律基準を満たしており、平成16年度に残りを整備するよう推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度整備実績（村経由の補助事業） <p>畜産基盤再編総合整備事業（国庫補助事業） 1件</p> <p>家畜排せつ物処理施設整備促進事業（村単補助事業） 20件</p> <p>この取り組みは、家畜排せつ物の適正な管理を推進する上で効果があります。</p>			

村内事業者に対し環境に配慮した事業活動を促します。

取り組み内容	ISO14001の認証取得の推進	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>取り組み状況（H16）</p> <p>16年度において、村に対する村内企業からの取得ノウハウ等の情報提供依頼等はありませんでした。</p>			

取り組み内容	IECの認証取得の推進	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>16年度の取り組みはありません。</p>			

取り組み内容	エコオフィスづくりの推進	担当課	環境課
--------	--------------	-----	-----

取り組み状況（H16）

滝沢村エコオフィス計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「法」という。）第4条第2項及び第8条第1項の規定に基づき、地方公共団体が自らの事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のための実行計画として策定するものであり、滝沢村役場が行うすべての事務事業とし、本庁及び出先機関で取り組みます。ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの運用の中で、実をあげていくものとします。

策定年月日 平成15年3月24日策定（平成15年4月1日施行）

実績の推移

温室効果ガス（CO2）排出量比較（kg）

項目	15年度実績	16年度実績	16-15年度	排出係数	排出量増減
電気（kWh）	7,059,526	7,142,606	83,080	0.357	29,660
灯油（リットル）	82,328	86,480	4,152	2.51	10,422
A重油（リットル）	407,768	378,840	28,928	2.77	80,131
ガソリン（リットル）	38,272	35,821	2,451	2.31	5,661
軽油（リットル）	22,424	20,995	1,429	2.64	3,773
事務用紙（kg）	16,137	16,149	12	-	-
廃棄物（kg）	80,706	91,126	10,421	2.64	27,510
計					21,973

平成16年度の省エネ・省資源の実績は、項目ごとに見ると7項目中A重油、ガソリン、軽油の3項目で前年度より向上している。

平成15年度と平成16年度の温室効果ガス（CO2）排出量比較では、全体として前年度より21,973kg減少した。

清掃センターの新施設が平成14年度途中から稼動して以来、毎年電気使用量が増加し、CO2の排出量も増加してきたが、平成16年度の電気使用量の増加によるCO2の排出量の増加をA重油等の使用量の減少によるCO2の排出量の抑制の方が上回ったことにより、CO2の排出量が全体として前年度より減少した。

取り組み内容	事業系一般廃棄物および産業廃棄物の排出抑制	担当課	清掃センター												
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>事業系一般廃棄物等の排出量結果</p> <p>（清掃センターへの直接搬入量の内訳：一部一般系含む）</p> <p style="text-align: right;">（単位：t）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th colspan="2">前年度との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>4,181</td> <td>4,532</td> <td>4,758</td> <td>226t増</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業系排出量が増え続けているものと考えられます。</p>					14年度	15年度	16年度	前年度との比較		計	4,181	4,532	4,758	226t増	1.05
	14年度	15年度	16年度	前年度との比較											
計	4,181	4,532	4,758	226t増	1.05										

自然と調和した観光の振興を図ります。

取り組み内容	キャンプ場の整備	担当課	商工観光課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>キャンプ場の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽付のトイレを設置し自然への負荷を軽減 ・自然公園保護管理人によるパトロールを実施 ・地元協力団体と協働で管理清掃を実施 <p>この取り組みは、村の自然のイメージアップに効果がありました。</p>			

取り組み内容	岩手山麓工房まつりやヤマザクラ桜並木などの支援事業	担当課	商工観光課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>岩手山麓工房まつりやヤマザクラ桜並木などの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工房まつり開催地としてキャンプ場の無料開放を実施しました。 ・ヤマザクラ桜並木植栽管理への支援を行いました。 <p>この取り組みは、村の自然を満喫できる効果がありました。</p>			

取り組み内容	イワナなど自然の恵みを活用した特産品開発	担当課	商工観光課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>イワナなどの自然の恵みを活用した特産品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットへ掲載しPRを実施 <p>この取り組みは、自然の恵みを利用した物産振興に効果がありました。</p>			

重点施策（４）自然環境

村の自然の状況を調査します。

取り組み内容	自然環境調査の実施	担当課	社会教育課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>16年度には、前年度、植物担当調査員4名、鳥類担当調査員2名、昆虫担当調査員2名により、村内全域にわたる調査を通年にわたって実施した結果を受け、各調査員による原稿執筆に取り組みました。</p> <p>17年度には「滝沢村野生生物分布調査報告書」として刊行予定です。</p> <p>この取り組みは、滝沢村の自然を知る上で効果があると思われます。</p>			

取り組み内容	水源涵養保安林の保護	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>16年度の取り組みはありません。</p>			

取り組み内容	水生生物調査の実施	担当課	環境課																					
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>環境教育、環境学習の推進の取り組みとして、水生生物調査の実施をしました。</p> <p>対象：滝沢小学校 4年 49人 場所：市兵衛川（土沢地内）</p> <p>日時：平成16年6月25日 9:00～11:30</p> <p>調査結果</p> <p style="text-align: right;">水質判定結果（パントル・バック 法による）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th></th> <th>PI 値</th> <th>水質判定結果</th> <th>総合判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">巢子川-上流 (No.7)</td> <td>夏季</td> <td>1.3</td> <td>ひんぷすいせい ・ 貧腐水性</td> <td rowspan="2">貧腐水性 ～ - 中腐水性</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1.6</td> <td>ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">巢子川-下流 (No.8)</td> <td>夏季</td> <td>1.6</td> <td>ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性</td> <td rowspan="2">- 中腐水性</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>2.5</td> <td>ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性</td> </tr> </tbody> </table> <p>生物学的水質判定法では、上に示したような水の汚れが複合的に作用しあって現れる水質環境を、大きく4段階に分けて判定します。</p> <p>ひんぷすいせい ・ 貧腐水性・・・きれい ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性・・・ややきたない</p> <p>ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性・・・かなりきたない きょうぷすいせい ・ 強腐水性・・・極めてきたない</p> <p>確認種一覧</p> <p>調査により確認された底生生物の一覧は、資料集5を参照。</p>				調査地点		PI 値	水質判定結果	総合判定	巢子川-上流 (No.7)	夏季	1.3	ひんぷすいせい ・ 貧腐水性	貧腐水性 ～ - 中腐水性	冬季	1.6	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性	巢子川-下流 (No.8)	夏季	1.6	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性	- 中腐水性	冬季	2.5	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性
調査地点		PI 値	水質判定結果	総合判定																				
巢子川-上流 (No.7)	夏季	1.3	ひんぷすいせい ・ 貧腐水性	貧腐水性 ～ - 中腐水性																				
	冬季	1.6	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性																					
巢子川-下流 (No.8)	夏季	1.6	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性	- 中腐水性																				
	冬季	2.5	ちゅうぷすいせい ・ - 中腐水性																					

取り組み内容	農地、緑地の保全	担当課	農林課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>環境と調和するような、農地、緑地の保全に努めています。</p> <p>優良農地の確保については、農振法、農地法ほか関連法律等により、乱開発の防止とその確保に努めました。</p> <p>また、災害等で被害を受けた農地 2 箇所を耕作可能な状態に復旧するための支援を行い、農地の保全に努めました。</p> <p>農地の保全に関しては、概ねその主旨に沿った取り組みができたと思われる。</p>			

取り組み内容	公共施設の緑化	担当課	都市計画課・道路課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>滝沢総合公園内の樹木の剪定を行いました。</p> <p>一般公園 4 箇所の樹木の剪定を実施しました。</p> <p>かつらぎ団地公園（7月）</p> <p>大釜ふれあい広場（7月）</p> <p>サンコート湯舟沢公園（9月）</p> <p>小岩井ニュータウン第6公園（2月）</p> <p>この取り組みは、環境緑化を推進する上で効果がありました。</p> <p>新設道路に植栽を行いました。</p> <p>都市計画道路茨島土沢線 ハナミズキ 41本</p> <p>この取り組みは、環境緑化を推進する上で効果がありました。</p>			

取り組み内容	森林の維持保全	担当課	農林課																								
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>村有林について保育作業を実施しました</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・造林</td> <td>5.16ha</td> <td>1.53ha</td> <td>- 3.63 ha</td> </tr> <tr> <td>・下刈り</td> <td>33.74ha</td> <td>14.66ha</td> <td>- 19.08 ha</td> </tr> <tr> <td>・除間伐</td> <td>24.60ha</td> <td>15.74ha</td> <td>- 8.86 ha</td> </tr> <tr> <td>・除伐</td> <td>0ha</td> <td>12.15ha</td> <td>+ 12.15ha</td> </tr> <tr> <td>・枝打ち</td> <td>0ha</td> <td>5.24ha</td> <td>+ 5.24ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>この取り組みは、適正な森林を維持する上で効果がありました。</p>					H15	H16	増減	・造林	5.16ha	1.53ha	- 3.63 ha	・下刈り	33.74ha	14.66ha	- 19.08 ha	・除間伐	24.60ha	15.74ha	- 8.86 ha	・除伐	0ha	12.15ha	+ 12.15ha	・枝打ち	0ha	5.24ha	+ 5.24ha
	H15	H16	増減																								
・造林	5.16ha	1.53ha	- 3.63 ha																								
・下刈り	33.74ha	14.66ha	- 19.08 ha																								
・除間伐	24.60ha	15.74ha	- 8.86 ha																								
・除伐	0ha	12.15ha	+ 12.15ha																								
・枝打ち	0ha	5.24ha	+ 5.24ha																								

取り組み内容	透水性舗装の敷設	担当課	道路課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>実施内容</p> <p>事業名 都市計画道路茨島土沢線街路事業</p> <p>場 所 滝沢村滝沢字土沢 地内</p> <p>内 容 歩道 延長 L=852m</p> <p>事業名 交通安全事業</p> <p>場 所 滝沢村滝沢字穴口 地内</p> <p>内 容 歩道 延長 L=216m</p> <p>従来の構造では、降雨時に歩道舗装面の雨水が側溝を通り河川へ流出していましたが、透水性舗装としたことにより地下に浸透し、自然に近い状況となっております。</p>			

自然保護の大切さについての学習を進めます。

取り組み内容	環境教育、環境学習の推進	担当課	経営企画課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>北上川流域及び北上川支流における調査活動や清掃活動などを通じて、環境保護の大切さを学ぶことを目的として取り組みました。</p> <p>事業実施後の児童の感想文には、環境保全に対する意識の高揚や環境に配慮する行動の実施意欲が読み取れることから、環境に対する意識付けが図られたと判断します。</p> <p>川の健康診断（水生生物調査）</p> <p>対象：篠木小学校 第6学年2学級</p> <p>場所：雫石川河川敷（大釜グラウンド付近 2箇所）</p> <p>日時：平成16年7月2日 8:30～10:20、10:30～12:20</p> <p>内容：水生生物調査による水質診断</p> <p>海岸清援隊（北上川河口清掃活動）</p> <p>対象：一本木小学校4学年児童とその父兄（希望者）23名</p> <p>場所：宮城県立神海岸及び白浜海岸（北上川河口）</p> <p>日時：平成16年7月10日</p> <p>内容：河口海岸の流木及び生活ごみの清掃活動及び環境学習</p> <p>この取り組みは、環境に関する理解を深める上で効果があったと思われます</p> <p>環境保護の大切さを学ぶためには、子どもの頃からの環境教育と学習が大切である。「川の健康診断」と「海岸清援隊」は実際に河川や河口に行き、水生生物調査や清掃を行う事業であり、環境保護の意識付けに大きな成果があったと思われる。事業実施後、子ども達に作文を書いてもらっているが、その中で、河口にごみが多いことの驚きや川を大切にしたいという思いが多く書かれており、環境教育、環境学習という面では大きな成果があったと考える。</p>			

取り組み内容	災害の防止	担当課	防災防犯課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>自然保護の大切さについて学習を進めます。</p> <p>火山災害や豪雨災害に備えた土砂災害想定危険箇所については、当課等において調査を進めております。</p> <p>村内14箇所の土砂災害危険箇所について調査を進めた結果、現段階で異常等はなく、今後定期巡回を要する箇所が2箇所ありました。</p> <p>今後においても継続し巡視を行います。</p> <p>土砂災害防止に資するための樹木の保全については、農林課で行っております。</p> <p>この取り組みは、住民の安全を第一に考える上で効果があります。</p>			

重点施策（５）生活・地球環境

ごみの減量化を図ります。

取り組み内容	ごみ減量の推進	担当課	清掃センター
取り組み状況（H16）			
ごみ減量するため生ごみ処理機購入した家庭に対し補助を実施しました。			
	14年度	15年度	16年度
生ごみ処理容器	20台	16台	
	34,800円	43,300円	
電動生ごみ処理機	49台	21台	11台
	684,900円	401,700円	156,400円
生ごみ処理容器については、平成15年度で補助を終了し電動生ごみの1本化にしました。 ただし、補助申請件数は、減少しております。			

取り組み内容	リサイクル率の向上	担当課	清掃センター
取り組み状況（H16）			
事業名 資源回収事業			
1.直接資源化量			
品目	14年度	15年度	16年度
鉄くず	122t	109t	136t
鉄プレス	309t	246t	268t
アルミプレス	80t	66t	56t
なべ・かま			5t
古紙	274t	403t	504t
雑誌			278t
古繊維	3t	3t	14t
ビン	30t	43t	27t
カレット	499t	505t	536t
ペットボトル	104t	98t	154t
計	1,421t	1,473t	1,978t
スラグ：ごみの溶融処理後に発生する砂状の固化物 メタル：ごみの溶融処理後に発生する金属			

2.施設処理に伴う資源化量			
品 目	14年度	15年度	16年度
スラグ	613 t	1,653 t	1,430 t
メタル	143 t	448 t	333 t
計	756 t	2,101 t	1,763 t

3.集団資源回収量			
品 目	14年度	15年度	16年度
ピン	21 t	18 t	34 t
古紙・金属等	747 t	890 t	959 t
計	768 t	907 t	992 t

4.ごみ総排出量			
品 目	14年度	15年度	16年度
ごみ排出量	16,455 t	16,941 t	17,242 t
集団資源回収量	768 t	907 t	992 t
計	17,223 t	17,848 t	18,234 t

○リサイクル率

(直接資源化量 + 施設処理に伴う資源化量 + 集団資源回収量) / (ごみ総処理量 + 集団資源回収量) = リサイクル率

14年度リサイクル率

$$(1,420 t + 756 t + 768 t) / 17,223 t = 17.1\%$$

15年度リサイクル率

$$(1,474 t + 2,101 t + 907 t) / 17,848 t = 25.1\%$$

16年度リサイクル率

$$(1,978 t + 1,763 t + 992 t) / 18,234 t = 26.0\%$$

この取り組みで、前年度と比較してリサイクル率は0.9%上昇しました。

取り組み内容	集団資源回収活動の推進			担当課	環境課
取り組み状況（H16）					
資源の有効利用に対する意識の高揚並びにごみ減量を目的とし実施しました。					
		14年度	15年度	16年度	
登録団体数		129団体	131団体	126団体	
実施団体		121団体	127団体	124団体	
奨励金		6,448,095円	7,496,226円	8,067,569円	
回収量	びん	69,157本	58,953本	54,811本	
	金属等	746,995kg	889,588kg	958,504kg	
この取り組みで、資源の再利用が図られました。					

取り組み内容	地域清掃活動の推進			担当課	環境課
取り組み状況（H16）					
村の取り組み					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃回収物等収集の実施 ・清掃月間（春）・清掃週間（秋）の実施（ごみ袋等の配布及び広報による周知等） 					
実施結果（地域清掃回収物等収集）					
月	申込件数	回収回数	支払金額 (側溝汚泥を除く)	参加人数	備考
合計	161件	240回	2,721,600円	21,857人	H14回収回数 149回 H15回収回数 193回
年々よりも実施回数が増加しているため、この取り組みで、住民に対しての事業の周知がなされ、住民の理解が得られていると思われます。					

ごみの不適正処理を止めさせます。

取り組み内容	環境巡視員の配置	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年度は、前年度までの不法投棄巡視員に代わり、環境巡視員を10月以降の配置も含め、不法投棄の監視、撤去、指導を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄 36件 ・ 警察へ通報 4件 <p>この取り組みで、環境美化に対する意識の高揚を図ることができました。</p>			

取り組み内容	ポイ捨て防止の啓発	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年度も昨年同様、啓発看板の設置を実施しました。</p> <p>この取り組みで、環境美化に対する意識の高揚を図ることができました。</p>			

取り組み内容	ごみの野焼きの禁止啓発	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <p>平成16年4月1日から家庭ごみの野外焼却が禁止されたことにより、その啓蒙と家庭用小型焼却炉の回収に努めました。</p> <p>広報チラシの配布（公共機関窓口）</p> <p>広報ポスターの掲示（＃）</p> <p>指導件数 24件</p> <p>「広報たきざわ」に野外焼却禁止の啓蒙と小型焼却炉の無料回収を2回掲載</p> <p>家庭用小型焼却炉を実施しました。</p> <p>この取り組みで、環境保全に対する意識の高揚を図ることができました。</p>			

取り組み内容	ペットのフン害禁止の啓発	担当課	環境課
<p>取り組み状況（H16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発用看板を各自治会へ配布 ・ 希望する自治会等へチラシの配布 ・ 広報への掲載 ・ 飼い方教室の開催 <p>実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発用看板109基配布 ・ 6月15日号、2月5日号計2回広報へ掲載 ・ 9月25日（土）たきざわ村産業まつり会場内にて実施 <p>合計参加人数18名</p>			

地球環境問題についての学習を進めます。

取り組み内容	地球温暖化防止の啓発	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 広報による啓蒙活動を実施しました。 掲載 10月15日号 「環境にやさしい買い物キャンペーン月間」			

取り組み内容	エネルギー教育の実施	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 16年度の取り組みはありませんでした。			

取り組み内容	環境チェックリストの作成	担当課	環境課
取り組み状況（H16） 16年度の取り組みはありませんでした。			